

足立区立郷土博物館だより 69

見えてきた豊穡な美術と文芸の世界

―文化遺産調査最前線―

家々に伝わる江戸絵画

いま区内の旧家から谷文晁らの江戸絵画をはじめ明治大正期の画家たちの作品が確認され、郷土博物館で調査収蔵を行っています。

酒井抱一ら江戸の文人たちの作品から近代画家の作品まで多様ですが、いずれも作者と結び付きが強い家から見出されています。

絵師たちの下絵と粉本ふんぼん

特徴の一つが絵師が用いる粉本(手本)や下絵も見つかっていることです。

木挽町狩野派絵師の粉本「常信筆百獣図」や「関屋之里天神図」は、本来、絵師の工房で使用する資料で、絵師と足立の人々の結び付きが強かったことを物語ります。

歩いて三十分

江戸琳派の祖、酒井抱一の雨華庵(下谷金杉)から約2.4km、歩いて三〇分のところに友人である建部巢兆の住居・秋香庵(千住河原町)がありました。巢兆の近所には同じく親しい文人・鯉隠りいんがおり雨華庵の隣には琳派絵師鈴木其一が住むなど絵師と「千住」はとても近いところにありました。

そして、千住・足立の人々は一緒に書画会を開催するなど絵師たちを支え、多くの美術作品と文化的なつながりを生み出しました。足立は、豊かな田園と川にめぐまれた近郊の美術と文芸の世界だったのです。



▲船津文淵 「猛虎図」



▲谷文晁 「波濤雲龍図」



▲「常信筆百獣図」より麒麟と象



▲「関屋里天神」

足立が生んだ絵師の一人が船津文淵(一八〇五〜五六)です。谷文晁の弟子で抱一・其一らとも親しく、多くの文晁作品とともに下絵や模本が今に伝わっています。この特別展では、彼らの親密な交流を物語る多彩な資料をご紹介します。

文化遺産調査 特別展

会期 平成28年 3月12日(土)
5月22日(日)

2015.10

ADACHI MUSEUM
足立区立郷土博物館

足立区
登録番号 27-296

出張博物館

千住酒合戦&歴史大全

パネル展

日時 10月31日(土)～

11月23日(月・祝)

※11月2日・8日・15日・22日除く

会場 東京電機大学ギャラリー

(足立区千住旭町5)

今年は、千住酒合戦からちょうど200年！
千住酒合戦200年記念デザインアイデア合戦で優秀作品と評価された作品を展示します。
あわせて千住の歴史・文化に関するパネルも展示しますので、お気軽にお越しください。



▲平成26年度に開催した千住歴史大全の様子

千住酒合戦

文化12(1815)年

千住の飛脚問屋・中屋六右衛門方で開かれた酒の呑み比べの催しです。

この催しには、酒井抱一、亀田鵬斎、太田南畝など当時知られた文化人が集い、酒合戦を題材に詩文や絵画などを作って楽しめました。千住の人々と江戸の文化人との交流をうかがい知ることが出来ます。

足立の文化財紹介

足立区には、数多くの文化財があります。今号では、これら貴重な文化財の一部をご紹介します。

当館中庭にあるこの庚申塔は、両側面に青面金剛など庚申信仰で尊ぶ主尊を計百体文字で刻んでいます。

嘉永元年(一八四八)建立です。二ツ家村(青井周辺)の村人が、豊作などを祈り建てました。

この型式は区内に一基しかない貴重な例です。

(地域文化課文化財係)



▲足立区登録有形民俗文化財
百脉庚申塔 一基

博物館臨時休館のお知らせ

12月7日(月)～平成28年1月4日(月)
エレベーター工事・電気設備工事のため、休館いたします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、東洲江庭園及び臨瀛亭は通常どおりご利用いただけます。

郷土博物館職員コラム

郷土博物館では、展示やイベントに関するさまざまな情報をホームページやフェイスブックを通じて紹介しています。

さらに今回の館だよりから、郷土博物館職員コラムと題してホームページなどでは伝えきれない展示やイベントにまつわる話をお届けします。

先日、ある展覧会を見てきた。その展覧会は、下絵や素描にスポットをあてた展覧会だった。

下絵というものを見る機会などこれまでなかった。幾重にも書き消された線の跡。理想の作品を追いつめて何度も描き直された線の跡。完成した作品からはうかがい知れない画家の取り組みや試行錯誤が見てとれた。本画と下絵などを同時に見ることで、絵の新たな魅力を見つけたように思う。

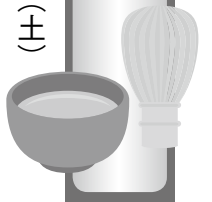
郷土博物館でも来年、下絵や絵手本などを展示する予定だ。その時には、下絵などの魅力を皆さんにも体験していただければと思う。



足立区立郷土博物館

検索

初釜の会



●日時 平成28年1月9日(土)
午前10時30分から

●場所 郷土博物館臨瀨亭

※先着100名様に整理券を配付

初釜とは、新年最初に行うお茶会で
新年をお祝いする茶会です。

郷土芸能鑑賞会

●日時 平成28年1月9日(土)
午前11時から

●場所 郷土博物館 中庭

●出演団体 血沼囃子保存会
高砂祭囃子保存会

郷土芸能保存会に所属する二つの団体が
お囃子や獅子舞等を披露します。

じんがんなわ

●日時 平成28年1月11日(月・祝)
午前9時30分から11時まで

●会場 大乘院

(足立区西保木間2-14-5)

足立区指定民俗文化財

「じんがんなわ」の見学会

博物館の桜まつり

●平成28年3月26日(土)
4月3日(日)

博物館の無料公開とさまざまな
イベントを開催します。

花めぐりバスの運行も予定しています。

博物館前の美しい桜並木とともにぜひお楽し
みください。



恒例！ 郷博の映画会

毎月 第2土曜日(無料公開日)
午前11時～正午

上映日	上映作品
11月14日	「越後二十村 牛の角突き」 「上三原田の歌舞伎舞台」
12月	エレベーター工事のためお休みします。
1月	初釜行事開催のためお休みします。
2月13日	「細工蒲鉾(かまぼこ)大阪市・野田」
3月	文化遺産調査特別展準備のため お休みします。
4月 9日	「信濃姨捨の棚田」 「面打ち 京都の能面師」

内容等については、変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

冬季区民教養講座

「俳句と私」(仮題)

●日時 12月6日(日)午後1時～

●講師 青山 丈氏(足立俳句連盟会長)

●会場 勤労福祉会館(綾瀬プルミエ)

●申込 当日直接会場へお越しください。

※内容等については
変更になる場合があります。



郷土博物館名品紹介（2点）

郷土博物館では、歴史や民俗資料など数多くの資料を収蔵しています。今号では、これらの貴重な資料のほんの一部をご紹介します。



作者名：歌川国貞
（三代豊国）
作品名：扇屋内花扇
制作年代：文化 12（1815）年～
天保 13（1842）年
形態：大判藍摺絵

幕末浮世絵界の大黒柱として活躍した国貞（三代豊国）による美人画の優作。ドイツ生まれの化学顔料、「ベロ藍」一色の濃淡で摺り上げる「藍摺」の技法が駆使されている。



作者名：鈴木春信
作品名：風流人倫見立八景むすめのせきせう
制作年代：明和元（1764）年～
明和 7（1770）年
形態：中判錦絵

錦絵の創始者、鈴木春信の「見立絵」。中国の八つの伝統的風景画題「瀟湘八景」の内、「漁村夕照」を、女性たちの姿に置き換えている。

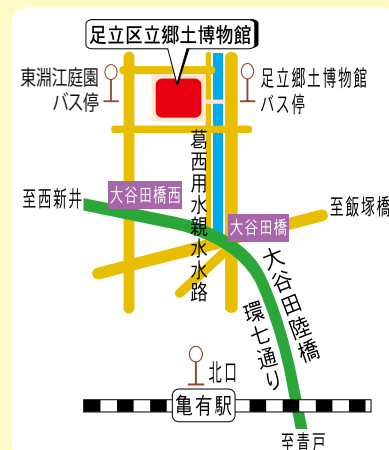


▲動物ヨーチと金花唐
区内で手づくりされているお菓子です。

皆さんがふだん食べているお菓子がどこでつくられているのか考えたことがありますか？
足立区にはお菓子の会社がたくさんあります。
もしかしたら、案外身近でつくられているのかもしれない。
とくに、昭和の香りのするなつかしいお菓子がどんな風につくられてきたのか？
お菓子のつくり方も大きく変わっています。
が、小規模な家族経営の工場が多いのも特徴です。
今回の特別展では、お菓子の歴史を細かく紹介しています。

特別展
「スイーツランド・あだち
ー東京東部のお菓子づくりー
会期 平成 27 年 10 月 20 日（火）
～ 12 月 6 日（日）

- 開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）
- 休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、年末年始
- 入館料 一般200円（高校生以上）
団体（20名以上）は半額
70歳以上は無料
障がい者手帳保持者およびその介護者1名は無料
5月5日・5月18日・10月1日・11月3日は無料公開日
第2・第3土曜日は無料公開日
- 交通案内 JR 亀有駅北口
東武バス 八潮駅南口行・足立郷土博物館 下車 徒歩1分
六ツ木都住行・東淵江庭園 下車 徒歩4分
千代田線綾瀬駅西口
東武バス 六ツ木都住行・東淵江庭園 下車 徒歩4分
駐車場有



足立区立郷土博物館 〒120-0001 東京都足立区大谷田5-20-1

平成27（2015）年10月 発行
TEL (03) 3620-9393
FAX (03) 5697-6562